

令和元年度 企画政策部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	令和元年度の取組状況報告							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備などを進めました。江別の顔づくり事業に完了の目途がたち、概ねの施設が供用されたことなどにより、成果指標は上昇しました。 ・高齢者や子育て世代など多様な世代の方の居住維持や移住による定住促進の取り組みを進めました。令和元年度は、定住相談窓口を全市展開したほか、ホームページやフェイスブック等のSNSによる情報発信などに取り組みました。 ・駅周辺の安全性、快適性の向上とバリアフリー化の促進のため、野幌駅周辺の交通施設の整備に合わせたバリアフリー化を建設部とともに進めました。 							
	05-02 交通環境の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通において大きな役割を担っている路線バスは、運転手不足と利用者減少により運行規模を維持することが難しくなっていることから、路線バスの現状等を周知するための広報活動や、利用促進を図るためのバスマップ、乗り方ガイドの発行などに取り組みました。また、市民の利便性向上と市立病院への通院手段の拡充を図るため、バス事業者と連携し、市立病院発着路線の増設に関する検討を進めました。 ・江北地区デマンド型交通について、地元やタクシー事業者と連携し、利便性向上のための見直し検討を行ったほか、豊幌地区においても、地元自治会と連携し、デマンド型交通運行に向けた検討を進めました。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7	80.2	80.0	82.7	↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9	64.4	63.6	66.6	↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「定住促進事業」 定住に関する相談対応件数		件	3	34	17	35	↗	
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員		千人	548	602	548	518	→	

政策 08 協働	政策展開の方向性																											
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。																											
	令和元年度の取組状況報告																											
	08-01 協働のまちづくりの推進																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域定着への取組として、学生地域定着推進広域連携協議会を運営し、市内4大学や近隣自治体等と連携して、学生の地域活動や地域の企業を知るツアー、企業でのインターンシップを実施しました。 ・大学と地域の連携を進めるため、教員や学生の地域課題研究及び地域活動に対し支援を行い、補助事業本数は一定数を保っております。また、研究や活動の結果を報告する事業報告会を開催したほか、大学の持つ専門知識の地域還元を目的に、大学教員による出前講座のPRを行い、開催を支援しました。 ・若い世代を中心とした独身男女の出会いの場を提供するイベントを開催し、多くの参加者を得ました。 ・友好都市提携40周年記念による土佐市訪問事業では、市から40名が参加し、記念式典や祝賀会、交流ママさんバレーボール大会などの記念イベントを通して、両市の友好をより一層深めることができました。 																											
	08-02 国際交流の推進																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの国際交流への意識向上と成長を目的として継続している姉妹都市グレシャム市との中高生相互交流事業を、市内中学校、高校の協力により実施しました。 ・国際センターが主催する様々な交流イベントでは、技能実習生や留学生をはじめ多くの外国人の参加により、市民が多文化に触れることができ、国際理解が深まる機会となったほか、12月には国際センターが野幌駅南口の「市民交流施設ぶらっと」に移転したことから、地域住民など新たな利用者も増えました。 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合</td> <td>%</td> <td>23.1</td> <td>21.7</td> <td>23.1</td> <td>34.1</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合</td> <td>%</td> <td>42.7</td> <td>48.6</td> <td>51.8</td> <td>50.6</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標	協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	23.1	21.7	23.1	34.1	↗	お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合	%	42.7	48.6	51.8	50.6	↗
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標																					
	協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	23.1	21.7	23.1	34.1	↗																					
お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合	%	42.7	48.6	51.8	50.6	↗																						
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																												
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数</td> <td>件</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数</td> <td>人</td> <td>895</td> <td>1,876</td> <td>1,233</td> <td>1,138</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数	件	6	9	11	10	↗	「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	895	1,876	1,233	1,138	↗								
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数	件	6	9	11	10	↗																						
「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	895	1,876	1,233	1,138	↗																						

政策 09 計 画 推 進	政策展開の方向性							
	<p>効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。</p> <p>さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。</p>							
	令和元年度の取組状況報告							
	09-01 自主・自立の市政運営の推進							
	<p>・第6次江別市総合計画の成果をPDCAサイクルを用いて継続的に向上させていくため、まちづくり政策と未来戦略について行政評価に取り組んだほか、今後の外部評価の進め方について検討を行いました。</p> <p>・「江別市行政改革大綱」に基づき、「行政改革推進計画」(平成26年度～30年度)の進行管理を終え、新たな「行政改革推進計画」(平成31年度～令和5年度)の1年目として、行革項目の着実な実行に向けた検討を進めました。</p> <p>・12市町村から構成される「さっぽろ連携中枢都市圏」において、職員研修事業、情報発信事業、移住促進事業など多分野にわたる連携事業を実施したほか、近隣市交流(江別市、厚別区、北広島市)で、各種事業を通して市民レベルの交流を行いました。</p>							
	09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進							
	<p>・広報広聴活動では、広報誌においてタイムリーな特集記事の充実や読みやすい紙面の工夫を進めるとともに、読者の感想を募集するなどして市民が意見を寄せやすい土壌づくりに努めたほか、SNSを積極的に活用し市民が行政情報入手できる環境整備を進めました。</p> <p>・えべつシティプロモーション事業では、「食」を核に、札幌圏の子育て世代を主要ターゲットとしたプロモーションの展開として、フリーペーパーの活用・PRセミナーなどを実施したほか、「江別シティプロモート推進協議会」による官民一体の実践活動やSNSの活用などに引き続き取り組みました。</p>							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標
	市政運営に満足している市民割合		%	64.7	66.0	62.3	73.2	↗
	行政情報の共有化を感じる市民割合		%	72.7	71.0	70.0	79.7	↗
男女が平等だと思う市民割合		%	48.7	48.5	46.5	53.1	↗	
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「行政評価・外部評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合		%	—	66.1	64.4	87.9	↗	
「行政評価・外部評価推進事業」 計画的に成果が上がっている事務事業の割合		%	93.0	92.9	90.3	85.6	↗	
「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合		%	84.8	83.8	84.5	81.7	↗	

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	①健康増進活動の推進 「生涯活躍のまち整備事業」(政策推進課)

3. 企画政策部の資源

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	158,576	97,560	133,973	234,874	114,053
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	158,576	97,560	133,973	234,874	114,053
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	30.00	30.00	31.00	31.00	30.00
	平均単価 (b)	7,764	7,670	7,618	7,627	7,687
	人件費 (a×b)	232,920	230,100	236,158	236,437	230,610
総 額		391,496	327,660	370,131	471,311	344,663